

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
富田西部地区

平成22年9月

山口県周南市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	狭隘道路率	%	49.5	27	26	確定 見込み		あり なし	23	H22年6月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	計画的な基盤整備の効果により、狭隘道路は減少し、地区の安全性、防災性の課題も解決さつある。
指標2	住民の公共施設整備の満足度	%	20	52	52	確定 見込み		あり なし	57	H22年6月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	利便性が向上する各公共施設整備の計画的な事業進捗が、満足度のアップに繋がった。
指標3	居住人口	人	801	690	723	確定 見込み		あり なし	739	H22年5月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	宅地造成により、地区外からの新たな居住者の増加に伴い、人口減少に歯止めがかかっている。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	下水道整備による満足度	%	34.6	/	68	確定 見込み	/	/	73	H22年6月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	区画整理事業と併せて実施した公共下水道整備の計画的な事業進捗が、満足度のアップに繋がった。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年 月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年 月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	・安心、安全なまちづくりのため、効率的、計画的な事業の推進を図る。	・地域の安全性、防災性向上のための効率的、計画的な道路整備を実施した。	・事業進捗に伴い、狭隘道路は着実に減少したため、緊急車両等の通行がスムーズになった。	・道路幅員が広がったため、通行車両のスピードが速くなっている傾向があり、今後はその抑制が課題となる。
	・公共施設を地域の道路、地域の公園として愛着度を高め更に快適で利便性のあるものにする。	・歩行者を優先するため、車道幅員を抑制し、歩道スペースを広く確保した歩車共存道路をカラー舗装で整備した。	・車道を所々狭くしたり、広くしたりしているため、ドライバーはスピードを制御して走行しており、また歩道を広くしたため、歩行者が安全に通行でき快適性も向上した。	・今後も区域内の道路(西部2号線)で実施したい。
	・地域住民のコミュニケーションや今後のまちづくりについて考える活動などを通じ、地域力の向上と、住民活動と事業の継続的な連携を図り、さらに人口の回復を確かなものにする。	・事業に対する住民の意見や理解を得るため、区画整理審議会の中で、地域の問題点や課題などについての検討を行う。また区画整理だけでは、区域内に完成した公園のお知らせをし、地域での利用をPRした。	・公園は個人単位では利用されているが、地域単位での利用や活動の場としての利用事例は今現在はない。	・公園については公園愛護会を結成し、地元公園管理等を行ってもらうことにより、地域活動を活性化させていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	・地区の安全性、防災性の更なる向上のための道路整備事業の継続。	・幹線道路へのアクセス道を優先して整備した。	・これまでより容易に幹線道路へのアクセスができ、安全性、防災性、利便性が向上した。	・スプロール的な既存道路を効率的、計画的に整備する。
	・満足度の向上のための更なる公共施設整備の継続。	・集団移転によるまとまった区域での基盤整備(宅地造成、道路整備、下水道整備)を実施。	・効率的な事業進捗により満足度は向上した。	・更なる満足度の向上を図るため効率的、計画的な事業推進。
	・区域内居住人口の増加に向けた方策の実施。	・集団移転によるまとまった区域での基盤整備を実施。	・宅地造成による民間分譲地に多くの住宅が新築されたことにより、居住人口は微増となった。	・本事業により他地区へ移転された方や、ももとの居住者の二世、三世など、地区外から新たな居住者の定住を促進する。
	・ゴミステーションの位置及び配置計画の検討。	・地元自治会、環境衛生自治会との新たなゴミステーションの配置に向けての協議。	・道路整備によるゴミステーションの配置変えを実施したが、地元自治会、環境衛生自治会、市の3者で連携を図り、新たにゴミステーションを設置した。	・今後も継続的に3者での連携を図る。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項